

# Economic Indicators

発表日: 2024年2月22日(木)

## 主要経済指標予定(2024年2月26日~3月1日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部  
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(2月26日~3月1日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
2月26日 (月)	8:50 1月企業向けサービス価格指数 (前年比)	+2.3%	+2.4%	+2.3%~+2.4%	+2.4%
2月27日 (火)	8:30 1月消費者物価指数(全国) 全国総合(前年比)	+2.1%	+1.9%	+1.8%~+2.2%	+2.6%
	全国コア(前年比)	+1.9%	+1.9%	+1.7%~+2.0%	+2.3%
	8:30 12月毎月勤労統計・確報 名目賃金(前年比)	—	—	—	+1.0%
2月28日 (水)	14:00 12月景気動向指数改訂値 CI先行指数(前月差)	—	—	—	+1.9pt
	CI一致指数(前月差)	—	—	—	+1.6pt
	2月29日 (木)	8:30 12月サービス産業動向調査 売上高(前年比)	—	—	—
2月29日 (木)	8:50 1月鉱工業指数・速報 生産(前月比)	▲6.8%	▲7.5%	▲11.3%~▲3.5%	+1.8%
	8:50 1月商業動態統計・速報 小売業販売額(前年比)	+2.0%	—	—	+2.1%
	14:00 1月住宅着工統計 新設住宅着工戸数(前年比) (季調値年率)	▲9.4% 80.5万戸	▲7.7%	▲9.9%~▲2.8%	▲4.0% 81.4万戸
	3月1日 (金)	8:30 1月労働力調査 完全失業率	2.4%	2.4%	2.4%~2.5%
3月1日 (金)	8:30 1月一般職業紹介状況 有効求人倍率	1.27倍	1.27倍	1.26倍~1.28倍	1.27倍
	14:00 1月消費動向調査 消費者態度指数(一般世帯、季調値)	—	—	—	38.0



**1月全国消費者物価指数（生鮮食品除く総合） 当社予想：前年比+1.9% 中央値：同+1.9%**

CPI コアは前年比+1.9%と前月の+2.3%から伸びが大きく鈍化し、22年3月以来の2%割れとなるだろう。宿泊料のプラス寄与縮小影響に加え、前年の伸びが高かった裏が出たことにより電気・ガス代のマイナス寄与が拡大するほか、値上げペースが昨年対比で鈍化していることで食料品のプラス寄与が縮小することなどが影響する見込み。2月には、電気・ガス代補助金の影響が剥落することでCPI コアは再び+2%台後半に伸びを高めるとみられるが、その後は緩やかに鈍化していくことが予想される。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

**1月鉱工業生産指数 当社予想：前月比▲6.8% 中央値：同▲7.5%**

1月の鉱工業生産は前月比▲6.8%と予想する。工場稼働停止の影響により輸送機械工業で大幅な生産低下が見込まれるほか、能登半島地震の影響などを受け、生産は大きく低下した見込み。先行きもこれらの悪影響による下押しが続くほか、国内の財需要不振や海外経済の減速により、生産は弱い動きが続くだろう。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

**1月小売業販売額 当社予想：前年比+2.0%**

小売業販売額は前年比+2.0%と前月から上昇率がやや縮小すると予想。前月比では小幅増加が見込まれるが、23年12月に大きく落ち込んだ反動が出ている割には戻りが小さく、基調としては弱い動きが続いていると判断される。1月は一部メーカーの出荷停止もあって自動車販売が大きく落ち込んだことも下押しになった模様。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

**1月完全失業率／有効求人倍率 当社予想：2.4%／1.27倍 中央値：2.4%／1.27倍**

インバウンド需要の拡大やサービス需要の持ち直しによりサービス業を中心として人手不足感が強まっている。1月も失業率は低水準での推移を予想する。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

---

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

